

ほんの少しの願い





「ほんの少しの願い」

湯ノ浦ユウ



ロウソクの薄らとした光が
心細さを救ってくれた
涙も一頻り溢れ乾いた目
真っ赤に泣きはらした目
部屋の中は
ぽっかりくっきり
影が鬼ごっこしてる
孤独をぶつけて
痛みがじんわりと
またやんわりと広がった
もっと
まっすぐな気持ちになれば
どこにだっていけるのに
光を見に行こう
こんなロウソクの
儂げな光じゃなくて
こんな不安と恐怖を
ごちゃ混ぜにした

闇の中なんかにはどこにもない
もっと大きな光を
明日もし何事もなく
太陽が昇ったなら
朝日の光を見に行こう
車でドライブなんかしながらさ
海を横目に潮風を堪能しながら
夜になったら
ゆっくり星の光を見よう
なにも考えないで
海の音に耳を傾けて
空の広さに体を預けて
瞼の奥の光と闇を感じながら
ほんの少しだけ日常を願って
手を合わせて
誰かに
何かに
祈った



i l l u s t r a t i o n

s = n o v

<http://twitter.com/sinov>

